

教科	社会	観点	① 知識・技能	
学年	2年生		② 思考・判断・表現	
授業形態	一斉		③ 主体的に学習に取り組む態度	
教科目標	授業ごとの目標が明らかにされ、わかる喜びや楽しさが実感できる授業づくり めあてと振り返りの徹底と、授業の流れの見える化と協働的な学びの意識化			
学期	単元名	学習内容	目標到達のめやす	評価する観点
1学期	世界からみた日本のすがた	日本の地形	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形、気候、人口、産業の特徴や特色を理解する。 現在、日本が抱える課題を、諸外国との関係も含めて考え、実際に日本でおこっていることだと理解する。 	①②③
		日本の気候		
日本の人口				
日本の資源・エネルギー				
日本の産業				
世界と日本の結びつき				
2学期	近世の日本	中世から近世へ	<ul style="list-style-type: none"> 戦国の争乱がどのようにして終わり、その後日本の近世社会の基礎がつけられたことを理解する。 江戸幕府の政治の特色を考えさせ、その支配のもとに生まれた社会がその後長く続いたことを理解する。 対外関係が活発な時期から外国との交渉が限定された時期へ移り変わりを考える。 産業や交通の著しい発達と各地方の生活文化の形成を知る。 幕府の政治改革と政治の行き詰まりの原因について考える。 	①②③
		江戸幕府の成立と東アジア		
		産業の発達と元禄文化		
		幕府政治の改革と農村の変化		
2学期	日本の諸地域	九州地方	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の特徴や特色を読み取り、各地域の課題について考える。 	①②③
		中国・四国地方		
		近畿地方		
		中部地方		
		関東地方		
		東北地方		
北海道地方				
3学期	近世の日本と世界	欧米の発展とアジアの植民地化	<ul style="list-style-type: none"> 欧米諸国が近代社会を成立させ、アジアに進出したことを理解する。 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを知る。 議会政治が始まり、日清・日露戦争や条約改正によって、日本の国際的地位が向上したことを読み取る。 近代産業の発展と近代文化の形成された原因や農村にどのような変化が生じたかを考える。 	①②③
		近世から近代へ		
		近代国家へのあゆみ		
		立憲制国家の成立		
		日清・日露の戦争と東アジアの動き		
近代日本の社会と文化				

◎評価の方法

中間テスト、期末テスト、小テスト、提出物（授業ノート、ワーク、調べ学習など）、実力テスト等

◎学習のポイント（学習の進め方について）

めあてと振り返りを提示して授業を行う。小テストを行って知識の定着等を図り、調べ学習や班活動を通して、主体的・協働的に学ぶ中で力を身に着ける授業をめざす。